



もくじ

地域おこし協力隊活動報告・・・P 2
こんにちは☆保健師です・・・P 3
安全なまち・・・・・・・・・・P 4
おしらせ・・・・・・・・・・P 6

まちのできごと・・・・・・・・P10
きたよん通信、
あいべつ校だより・・・P12
ハロー！エンジェルです・・・P13

地域おこし協力隊 かつどうほうこく



キャンプ体験の時に一緒にカレーを食べた時の様子。



愛別ダムでのカヌー体験。子どもたちのステキな笑顔。



ゴルフ体験。子どもたちの努力する姿。



今年採れたビーツ。



ビーツについた土を飛ばしているときの様子。

もつすく夏が終わります

愛別町にも、夏がやってきまして、扇風機をつけながら寝る日々が続きましたが、お盆が過ぎて、少しずつ朝晩が涼しくなり、すぐに扇風機をタンスにしまいました。色んな方々から、夏は短いといわれてきましたが、その通りだとつくづく実感しております。

さて、協力隊の活動も、段々と増えていき、毎週のように取材へ行くことが増えてきました。町に住む元気な方々との交流を楽しみながら、日々取り組んでいます。それにしても、愛別町は、思っていたよりも土地が広く、車のガンリンも取材に行くたびに無くなっていくので驚いています。

最近、教育委員会が主催する、子どもたちへの体験活動「チャレンジ元気塾」へ同行し、写真や動画を撮ることが増え、子どもたちと関わりながら、楽しく撮影しております。子どもたちの世界をのぞくと、友達想いの子がいたり、負けず嫌いの子がいたり、お姉さんのように何でもやってしまう子もいたり、さまざまな一面が感じられました。その様子や成長をカメラに撮らせていただきながら、動画を作っております。出来上がりしました動画は、ケーブルテレビポテトの「愛別トピックス」で流れていることがありますので、ぜひ、子どもたちの楽しい活動の様子をご覧ください。その他にも、インスタグラムや、フェイスブックでも活動の様子や、ステキな風景なども載せていますのでご覧になっていただけたら嬉しいです。

また、特産振興の方では、ビーツの収穫が終わり、愛山の地域おこし協力隊事務所に届いたビーツの重さを量ったり、土をエアーガンで飛ばして、加工しやすいようにする作業が進んでいます。今年のビーツパウチも随時出来上がっています。これからも、愛別町を盛り上げるべく頑張っていきます。応援よろしくお願いします。

(文 谷合恵輔)

こんにちは☆保健師です

～保健師や栄養士による健康情報を紹介します～



今月の担当：西部保健師

今月のテーマ：9月10日から16日まで 「自殺予防週間」です

毎年9月10日から16日までの一週間を「自殺予防週間」として定め、国、地方公共団体、関係団体、民間団体等が連携し、啓発活動を推進することとしています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により夏休みが短縮され、例年よりも早く学校が始まる地域が多いことから、取り組みを更に前倒しして、夏休み中である8月1日から9月16日まで、集中的に啓発活動を実施しています。

こころが疲れた時、不安や問題を抱えている時、ひとりで抱えこまないでください。大切な人が悩みを抱えていることに気づいたら、声をかけてみてください。その人が悩みを話してくれたら、話をじっくりと聴いて、相談窓口を紹介してください。問題解決のお手伝いができる様々な相談窓口がありますので、ぜひご活用ください。



●こころの健康相談窓口

相談先	電話番号	受付時間
旭川いのちの電話	0166 - 23 - 4343	木曜9:00～月曜15:30まで連続 火曜・水曜9:00～15:30
北海道いのちの電話	011 - 231 - 4343	24時間
一般社団法人 北・ほっかいどう 総合カウンセリング支援センター	0166 - 27 - 7611	火曜・木曜 10:00～15:00
北海道立精神保健福祉センター こころの電話相談	0570 - 064 - 556	月曜～金曜 9:00～21:00 土・日・祝 10:00～16:00
上川保健所健康推進課健康支援係	0166 - 46 - 5992	平日 8:45～17:30
よりそいホットライン	0120 - 279 - 338	24時間

●愛別町の相談窓口

■地域包括支援センター ☎6 - 4771

高齢者の介護・福祉・医療・健康等様々な面から、総合的にお手伝いさせていただく相談窓口です。

■保健福祉課保健推進係 ☎6 - 5111(内線143)

全世代を対象とした、健康・栄養・こころの健康に関する相談窓口です。

▷移動健康相談のお知らせ

毎月、保健師・栄養士が地域の会館を巡回し、健康相談を実施します。ぜひ、お気軽に、お体や栄養のことなどの相談にご活用ください！

■日時・場所 9月9日(水) 13:30～14:30 中里母と子憩の家

9月23日(水) 13:30～14:30 愛別地区農業研修センター

■問い合わせ先 保健福祉課保健推進係 ☎6 - 5111(内線143)



住宅用火災警報器は

設置されていますか？

住宅火災による死者を減らすため、住宅用火災警報器の設置が平成18年から義務付けられています。

近年、住宅火災による死者数は高齢化の進展により急増しています。死亡の主な原因は、火災に気づくのが遅れたことによる「逃げ遅れ」で、半数以上の方が高齢者であり、今後増加するおそれがあります。住宅火災により亡くなる方を減らすために住宅用火災警報器の設置が不可欠です。

愛別町において、毎年実施している住宅用火災警報器の設置率調査（令和元年度）による調査結果では、設置率は86.06%であり、100世帯以上の住宅に火災警報器が設置されていない状況となっています。未設置のご家庭は、あなたと大切な家族の尊い命を守るために、迅速な設置をお願いします。

●住宅用火災警報器とは？

天井や壁に取り付け、火災の煙や熱を素早く感知して、警報音や音声により火災を知らせる器具です。

●住宅用火災警報器の種類は？

住宅用火災警報器には、「煙」を感知する煙式と「熱」を感知する熱式があります。設置が義務付けられ

ているのは、煙を感知する煙式です。

●住宅用火災警報器の設置場所は？
住宅用火災警報器等の設置義務化の目的は、就寝中に発生した火災による死者の発生を防ぐためです。で、寝室に取り付けます。

ただし、寝室が2階以上にある場合は、階段にも取り付けする必要があります。

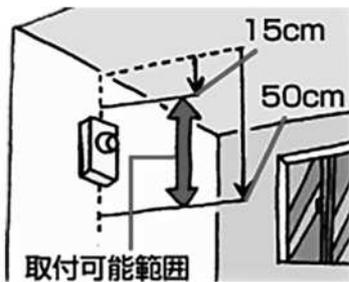
また、台所は設置義務化の対象にはなっていませんが、万が一のことを考慮し、台所の住宅用火災警報器の取り付けが推奨されています。

※台所は蒸気などで誤感知する場合もあるため、熱式でも構いません。

●住宅用火災警報器の取り付け位置は？

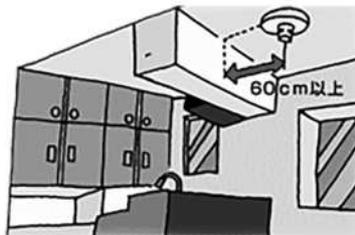
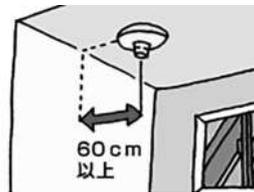
▽壁に設置する場合

天井から15～50cm以内に設置

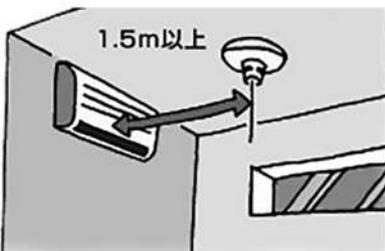


▽天井に設置する場合

①壁または梁から60cm以上離して設置



②換気口等の空気吹出し口から1.5m以上離して設置



9月9日は 救急の日です

「救急の日」は、「9(きゅう)9(きゅう)」の語呂合わせから、救急医療関係者の意識を高めるとともに、救急医療及び救急業務について皆様に理解と認識を深めていただくために、昭和57年に厚生省(現厚生労働省)によって定められました。

愛別町の令和元年中の救急出動件数は173件でした。そのうち約4割の方が入院の必要のない「軽症」の患者さんでした。救急車は、ケガや急病などで緊急に病院へ搬送しなければならぬ傷病者のためのものです。愛別町には救急車は1台しかありません。緊急ではない救急要請により出動し、その間に、本当に救急車を必要とする事故が発生した場合、近隣町の救急車を要請し出動することになるため、現場への到着が遅れ、救える命が救えなくなる恐れがあります。

緊急性がなく、救急車以外に搬送手段がある場合は、救急車の利用を避け、自家用車や公共の交通機関などを利用してください。緊急性があり、本当に救急車が必要な時は、ためらわずに救急車を呼んでください。

救急車を本当に必要とする人のために、適正利用についてご協力をお願いいたします。

自衛官等募集案内

●自衛官候補生

▽受験資格

日本国籍を有し、採用予定月の1日現在18歳以上33歳未満の者

▽受付期間

年間を通じて行っています。

※採用予定数に達した場合は実施しません。

▽試験期日

10月18日(日)・19日(月)

いずれか1日

▽試験会場

陸上自衛隊旭川駐屯地

(旭川市春光町)

●防衛医科大学校看護学科学生

(自衛官候補看護学生)

▽受験資格

日本国籍を有し、平成12年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた高卒者(見込含む)

▽受付期間

7月1日(水)～10月1日(木)

▽試験期日(第1次試験)

10月17日(土)

▽試験会場

陸上自衛隊旭川駐屯地

(旭川市春光町)



●防衛医科大学校医学科学生

▽受験資格

日本国籍を有し、平成12年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた高卒者(見込含む)

▽受付期間

7月1日(水)～10月7日(水)

▽試験期日(第1次試験)

10月24日(土)・25日(日)

の2日間

▽試験会場

陸上自衛隊旭川駐屯地

(旭川市春光町)

■問い合わせ先

自衛隊旭川地方協力本部北地区隊

☎0166・54・5617

総務企画課総務係

☎6・5111(内線215)

JR石北本線を「ご利用ください」

JR北海道は平成28年11月に「単独では維持困難な線区」として10路線13線区を公表し、石北本線も対象線区として公表されました。しかし、石北本線は沿線の市町村において、欠かすことができない重要な鉄道網となっております。

町民の皆様にも日頃からのJRの利用についてご協力をお願いいたします。

■問い合わせ先

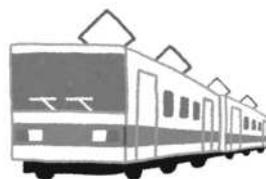
総務企画課政策企画係

☎6・5111(内線213)

今後とも、地域としてJR石北本線の存続に向けた様々な取組を実施して行く必要がありますが、「利用促進の取組」が非常に重要な取り組みとなります。

今後とも、地域としてJR石北本線の存続に向けた様々な取組を実施して行く必要がありますが、「利用促進の取組」が非常に重要な取り組みとなります。

今後とも、地域としてJR石北本線の存続に向けた様々な取組を実施して行く必要がありますが、「利用促進の取組」が非常に重要な取り組みとなります。



「ご寄附に感謝申し上げます」

上川中央農業協同組合様から、愛別町立診療所南東側の土地109平方メートルを町に寄附していただきました。寄附していただいた道路敷地は、学園道路として北海道美深高等養護学校あいべつ校からダ・マルシェまで通行できる道路で、今までは上川中央農業組合様所有の駐車場の一部を通行している状態でしたが、寄附いただいたことにより、今後は道路敷地として区画線を設け、道路として管理していきます。

この度のご寄附に心より感謝申し上げます。



町道民税及び固定資産税第2期、国民健康保険税第3期分の納期限は9月30日(水)です

皆様が納める税金は、私たちの暮らしを支える様々な費用に使われています。税金は納期限までに納めましょう。

なお、口座振替により納付されている方は、9月30日(水)にご指定の口座から振替をいたしますので、事前に残高の確認をお願いいたします。

●町税の納付には口座振替が大変便利です

口座振替制度は、あなたの指定した金融機関の預貯金口座から、納期限日に自動引き落としにより納税することができる制度です。手数料も不要で、納期のたびに納税に向く必要や、納め忘れの等の心配がなく、安全・便利・確実な制度です。ぜひ口座振替制度をご利用ください。

手続きは、旭川信用金庫愛別支店、上川中央農業協同組合本所または愛別郵便局で行えます。

■問い合わせ先

税町民課課税納税係 ☎6-5111 (内線117・118)

「はじめてのスマホ講座」受講者募集

はじめての方でもわかりやすくスマートフォンの基本的使用が学べる「はじめてのスマホ講座」を開催します。災害時に役立つ使い方もお伝えします。練習用のスマートフォンをご用意しますので、スマートフォンをお持ちでない方もお気軽にご参加いただけます。

▽日時

9月8日(火)・15日(火)
13時～15時

▽場所

役場2階町民サロン

▽参加費

無料

▽定員

10名

(参加には事前申し込みが必要です)

▽その他

受講の際は、マスク着用のご協力をお願いいたします。

■申し込み・問い合わせ先

旭川ケーブルテレビポテトサービスセンター

☎0166-67-2277

第3回愛別町議会定例会のお知らせ

愛別町議会定例会は毎年3月、6月、9月、12月に行われ、ご納付も傍聴することができます。次の定例会は、9月16日(水)から18日(金)の予定ですが、お越しの際は新型コロナウイルス感染症予防対策として、マスク着用のご協力をお願いいたします。

また、定例会の詳細につきましては、IP放送でお知らせしますので、ご確認ください。

■問い合わせ先

議会事務局
☎6-5111 (内線271)

労働者個人と使用者間の

トラブル解決を支援します

北海道労働委員会では、退職の強要や賃金の引き下げ、各種ハラスメントなど、労働者個人と使用者の間で発生した労働問題に関するトラブルについて、その解決を支援する「個別的労使紛争のあっせん」を行っています。

申請は簡単・無料で、秘密厳守の上、迅速に対応します。現地に向いて申請受付やあっせんを行いますので、お気軽にご相談ください。

▽一般の労働相談は道の「労働相談ホットライン」をご利用ください。

☎0120-81-6105

●受付時間

【月～金曜日】17時～20時

【土曜日】13時～16時

(祝日・年末年始を除く)

※社会保険労務士が対応します。

▽「あっせん」窓口(相談・申請)

北海道労働委員会事務局調整課
(札幌市中央区北3条西7丁目
道庁別館10階)

☎011-204-5667(直通)

●受付時間

【月～金曜日】8時45分～17時30分

(祝日・年末年始を除く)

※来庁される場合は事前にご連絡ください。

小動物慰霊祭のご案内

富沢衛生センターにおいて、本年度の小動物慰霊祭を行います。お時間の許される方の参列をお願いいたします。

▽対象者

令和元年10月1日から令和2年10月1日までに小動物焼却施設を利用された方

▽日時

10月2日(金) 15時～

▽場所

富沢衛生センター 獣魂碑前

■問い合わせ先

愛別町外3町塵芥処理組合

富沢衛生センター

☎6・5194

「北海道立北の森づくり専門学院」の出願受付について

今年4月、旭川市に開校した「北海道立北の森づくり専門学院(略称:北森カレッジ)」は、林業・木材産業の幅広い知識と確かな技術を2年間で身に付けられる専門学校で、北海道の森林づくりへの意欲に溢れた方を募集しています。

▽出願資格

道内の林業・木材産業関係企業等への就職を希望し、高等学校卒業または同等以上の学力を有し、入学時に40歳以下の方

▽出願期間

●推薦入試

10月1日(木) ～ 15日(木)

●一般入試

10月12日(月) ～ 29日(木)

▽試験日程・方法

●推薦入試

10月26日(月)

【試験方法】面接

【試験会場】旭川市、札幌市、帯広市、東京都

●一般入試

11月16日(月)

【試験方法】小論文・面接

【試験会場】旭川市、札幌市、帯広市、東京都、福岡県

■問い合わせ先

産業振興課林務係

☎6・5111(内線222)



「学院説明会」[オープンキャンパス]を開催します!詳しくは北海道ホームページへ

旭川しんきん結婚相談所

「A・YELLOW」(アエール)

旭川しんきんでは、結婚を希望される方へ、お見合いから交際までをサポートする結婚相談所「A・YELLOW(アエール)」を

2016年11月から運営しています。2020年5月末現在では交際数141組、婚約数3組、成婚数17組となっております。

申込書類は本・支店ATMコーナーに設置しており、旭川信用金庫と取引がない方でも申し込み可能となっております。また、入会金・年会費が不要(入会預かり金1万円

がかかりますが、退会時に全額返却されます)で窓口を通らず直接お申込みいただけることから、安心して入会することができます。

詳しくはホームページをご参照いただくか、直接アエール事務局までお問い合わせください。

▽会員資格

- 旭川信用金庫の営業地域にお住いの方(男女とも満20～47歳まで)
- 法的にも実生活上においても独身の方
- 結婚したいという明確な意思のある方

▽入会にあたり提出が必要なもの

- ・申込書類
- ・戸籍謄本または独身証明書
- ・収入証明書
- ・申込用写真1枚、お見合い用写真2枚
- ・入会預かり金1万円(退会時に全額返却)

など

※入会申込は完全予約制となります。事前に事務局へご連絡ください。

■問い合わせ先

「A・YELLOW(アエール)」事務局
(旭川信用金庫本店4階)

☎0166・26・1133



国勢調査にご協力ください

国勢調査は、10月1日(木)現在、日本に住むすべての人および世帯を対象として実施される調査です。

国勢調査の調査結果は日本の未来をつくるために国や都道府県、市町村行政の基礎資料となり、私たちの生活に役立てられます。

●調査方法

9月中旬から国勢調査員が各世帯へ調査票を配布します。

回答方法はインターネットで回答いただくか、紙の調査票に回答を記入し郵送もしくは調査員へ提出してください。

●インターネット回答をおすすめします！

お持ちのパソコンやスマートフォンを使って、24時間都合の良いときにいつでも、簡単・便利に回答いただけます。回答いただいた内容は厳重なセキュリティで保護されているので安心・安全です。また、書類を運ぶ際に発生するCO₂や事務コストを減らすことができる地球環境にやさしい回答方法です。

調査票とともに「インターネット回答利用ガイド」が配布されますので、ガイドに沿ってご回答ください。



●国勢調査をよそおった詐欺や不審な調査にご注意ください

国勢調査では、金銭を要求することはありません。また、銀行口座の暗証番号やクレジットカード番号をお聞きすることもありません。

国勢調査をよそおった不審な訪問者や、不審な電話・電子メール・ウェブサイトをにご注意ください。

国勢調査員は、その身分を証明する「調査員証」を携帯しています。

■問い合わせ先

総務企画課広報統計係
☎ 6・51111 (内線217)





番号
そのまま

ポテトスマートフォン

基本料金 (2GBプラン) ※端末代除く

月額 1,680円~ (税抜)

※ポテトサービス (テレビ・ネット・ポテトでんき) 未加入の場合は+500円

最新機種
iPhoneSEも
お取扱中!



SIMだけ契約もOK! \ 他社で iPhone をご利用の方!! /

今お使いの iPhone をそのまま安く!!

NTTドコモ・au・ソフトバンク・Y!mobile などで
今お使いの iPhone をそのまま安く使えます (iPhone6S 以降)



Android
iOS
どちらもOK!



ASAHIKAWA
CA-TV

旭川ケーブルテレビ株式会社

ポテトサービスセンター

☎ 0166-67-2277

お越しの際は近隣駐車場をご利用ください。

地域に「貢献・密着・活性化」

旭川市2条通7丁目買物公園通 営業時間 / 9:30~18:00 (年中無休)

ご自宅にご訪問も可能です!

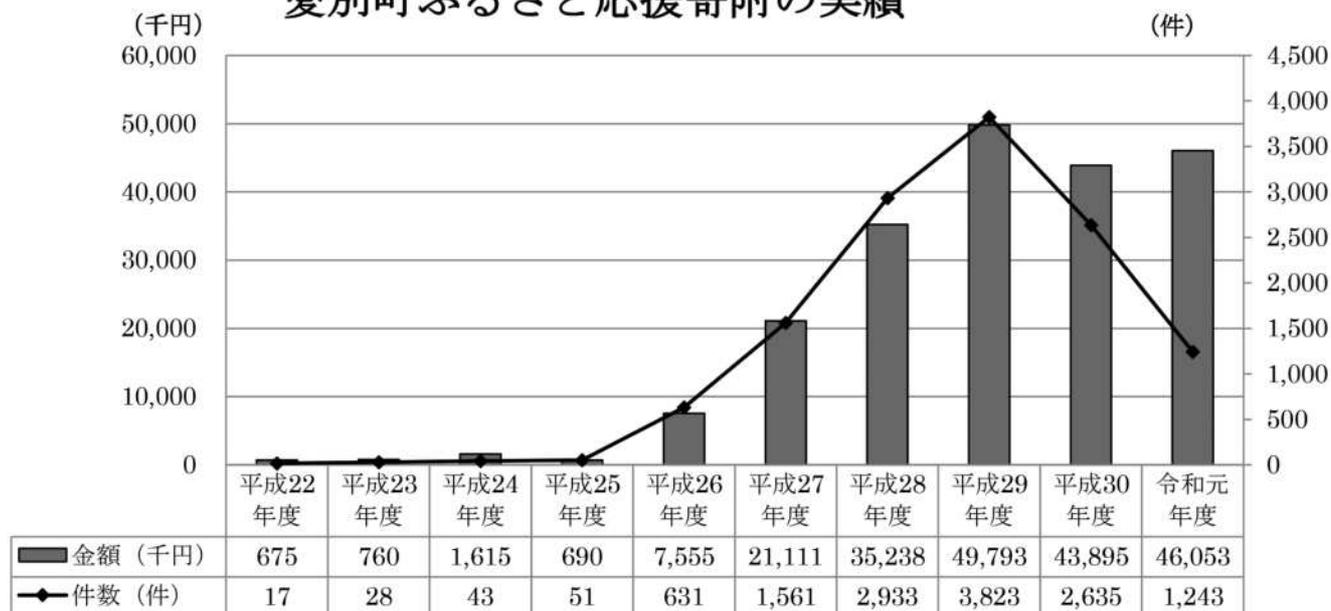
令和元年度ふるさと応援寄附金の状況について

ふるさと応援寄附は、都道府県や市区町村など、生まれ育った出身地や応援したいと思う自治体に寄附を行った場合に、住民税と所得税が軽減される制度です。最近はお米やきのこなどの返礼品が好評をいただき、寄附件数が増加傾向にありましたが、寄附金額に対する返礼割合の厳格化等の影響により減少となりました。

いただいた寄附金は、子どもの育成や教育環境の整備、農業や観光など産業振興、歴史や伝統を活かしたまちづくりなど、まちの様々な事業の貴重な財源として活用させていただきました。

○寄附の状況

愛別町ふるさと応援寄附の実績



○寄附金の主な使い道

令和元年度の主な寄附金活用事業	充当額
乳幼児等医療給付・健康診査事業(乳幼児等への医療給付・健康診査実施)	551万5千円
児童生徒入学通学応援事業(教材・制服・通学費等への助成)	402万0千円
愛のまち交流事業(東近江市愛東地区との交流)	100万0千円
さくら保育所運営事業(保育所運営の充実)	150万0千円
小中学校教育振興事業(学習サポート等の教育振興に資する事業)	740万0千円
小中学校ICT活用事業(ICT機器等の整備)	130万0千円
農村公園等運営事業(農村公園・体験農園運営の充実)	296万0千円
商店街活性化事業(店舗の新築・改修等への支援)	100万0千円
蔵ら運営事業(蔵ら運営の充実)	500万0千円
イベント支援事業(きのこの里フェスティバル・夏まつりの開催支援)	330万0千円
リバーフロントパーク運営事業(リバーフロント運営の充実)	650万0千円
オートキャンプ場運営事業(キャンプ場運営の充実)	539万3千円
スポーツ公園運営事業(スポーツ公園運営の充実)	320万0千円
芸術文化振興・無形文化財保存事業(芸術文化の振興及び保存)	60万0千円
その他まちづくりに資する各種事業	1,194万8千円
合計	6,063万6千円



体験農園



あいべつきのこの里フェスティバル

■問い合わせ先

総務企画課政策企画係 ☎6-5111(内線213)

いつまでも元気に暮らしていくために

8月3日、総合センターで認知症の理解と予防についての講演会が開かれ35名が参加しました。小樽商科大学の相内俊一名誉教授を講師に招き、認知症になるのを防ぐ「一次予防」、早期発見し治療によって進行を防ぐ「二次予防」、病状が進行しても日常生活を続けられるようリハビリを行う「三次予防」についてお話いただきました。また、イスに座ったままでもできる「まる元体操」を体験しました。

参加者は、講師の話に頷いたり、メモを取りながら真剣に聞いていました。



今年は30%お得! くらし応援券が販売されました

8月3日、蔵らで「くらし応援券」が販売されました。

今年は30%お得な「くらし応援券」を買い求めに、整理券配布開始の午前9時には、すでに多くの人が集まっており、販売予定数の4,000冊は当日完売しました。

くらし応援券の使用期限は、令和3年1月31日までとなっています。購入された方は忘れずにご使用ください。



夏の夜空に打ち上がる 祈りの花火

8月18日、祝っちゃんの会が発足30周年記念事業として、花火の打ち上げを行いました。

祝っちゃんの会は、平成2年から、愛別町内での赤ちゃん誕生をお祝いする花火「ハッピーボン」の打ち上げを行ってきました。

今回の花火は、新型コロナウイルス感染症の早期収束を祈願して打ち上げられ、町内では多くの方が、周囲の人と距離を保ちながら、夜空を見上げていました。



打って!走って!守り抜け!

愛別中学校野球部が、8月11日から千歳市で開催された、第40回記念全道中学生軟式野球大会に出場しました。1回戦は、岩内第一・岩内第二中学校を6-3で下し、見事な逆転勝利を収めました。2回戦のTTBC・Aチーム戦では、1点先制しましたが、その後逆転を許し、3-4で惜敗しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で練習開始が遅れ、多くの大会が中止になった今シーズンでしたが、3年生最後の大会で全てを出し切ることができた試合となりました。



農業委員14名を任命しました

7月20日付けで、地域の農業者や農業団体等からの推薦が6名、農業者にこだわらず広く一般からの公募による応募者が8名、合わせて14名の農業委員が町長より任命を受けました。

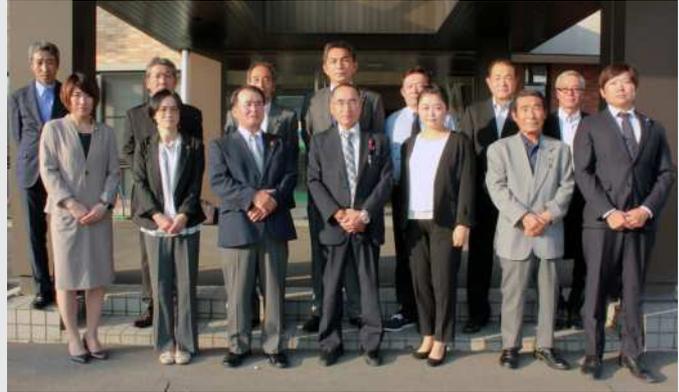
今後3年間、農業者の代表として活躍される農業委員の方々を紹介します。(敬省略)

●推薦による委員(6名)

渡邊 智弘(中央)	岡田 仁(協和)
田中 幸夫(豊里)	奥山 泰久(協和)
沼田 武(愛別)	成田 聖美(中央)

●応募による委員(8名)

鉛口 裕二(金富)	水谷 絵美(厚生)
川崎 進(北町)	昔農 深雪(愛別)
柴田 隆(伏古)	中井 太志(愛山)
高田 峰雄(愛山)	早坂 進(伏古)



SUKOYAKAあかちゃん!



早く動いてお兄ちゃんと遊ぼうね。

矢部 ^{こと}琴ちゃん

令和元年9月12日 金富2区
矢部 大輔さん・めぐみさん



モリモリ食べて大きくなってね!

窪内 ^{りさ}梨紗ちゃん

令和元年9月10日 南町4区
窪内 康春さん・由貴さん



元気いっぱい育ててね!

荒 ^{いおり}伊織くん

令和元年9月17日 東町4区
荒 宣人さん・晴日さん

上川中部基幹相談支援センター **きたよん通信**

～ 比べないのは当たり前、みんなで上がろう愛の地域(ぶたい)～

発達障がいについて②

●広汎性発達障がい(自閉症スペクトラム)とは…

自閉症や、自閉症に似た特性を持つ障がいの総称です。「自閉症スペクトラム」は、自閉症の特性「対人関係の障がい」「コミュニケーションの障がい」「興味や活動の偏り」をベースに軽度なものから重度のものまで、ひとつながりの発達障がいであることを表しています。

※スペクトラムは、“連続体”という意味で、つながっているという意味です。

●自閉症

自閉症は、生まれつきの脳の障がいで、原因はわかっていませんが、「見たり・聞いたり・感じたり」した情報を理解・処理する部分に問題があるのではないかとされています。そのため、人との関わり、気持ちを伝える、相手の気持ちを理解することが大変苦手です。

「自閉症」といってもそれぞれ症状は違い、知的能力も人によって大きな幅があり、ある程度コミュニケーションが可能な方から社会生活を送るのが困難な方など様々です。

●アスペルガー症候群

アスペルガー症候群は広い意味での「自閉症」に含まれる1つのタイプです。幼児期に言葉の発達の遅れがないため、障がいがあることがわかりにくいのですが、成長とともに不器用さがはっきりすることが特徴です。

広汎性発達障がいなど発達障がいの分類や名称は、教育や福祉、医療、行政等の立場の違いによって使い方が違ったり、時代によって変化することもあります。

■相談窓口・問い合わせ先

- ・上川中部基幹相談支援センター 当麻町3条東2丁目11番1号(当麻町役場内)
- ☎: 0166 - 84 - 7111 FAX: 0166 - 84 - 7333 メール: kitayon@potato.ne.jp
- ・虐待防止センター専用電話 ☎: 0166 - 84 - 7222 (24時間対応)

共生型交流館「ぽんて」に、きたよん相談日を開設します

共生型交流館「ぽんて」に相談窓口を次のとおり設置します。当日は、障がいに関するさまざまな相談に上川中部基幹相談支援センターきたよんの職員が対応します。事前予約は不要ですのでお気軽にお立ち寄りください。

▷日時 9月14日(月) 13:30～15:30

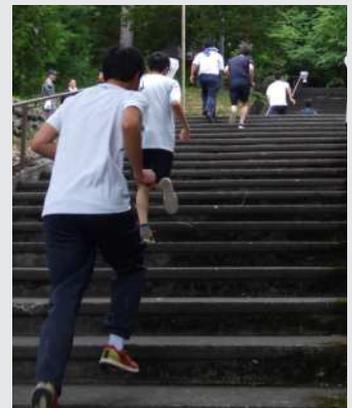
■問い合わせ先

▷場所 共生型交流館「ぽんて」(愛別町字本町170番地) 保健福祉課福祉係 ☎6-5111(内線142)

北海道美深高等養護学校あいべつ校便り 第81号「令和2年度あいべつ校部活動始動!」

長い臨時休業期間が終わり、ようやくあいべつ校にも活気のある声に戻ってきました。今年度は、7回生16名の新生入生を各部活動に迎え、これから実施される大会で自分のベストパフォーマンスができるように、また、技術の向上を目指して、日々の練習が始まりました。新型コロナウイルス感染症の影響により、10月に鹿児島県での開催を予定していた全国障害者スポーツ大会は、実施時期が延期になりました。あいべつ校からも卒業生4名が全国大会の出場選手に選出されています。選手たちが安心して大会に出場できる日が、できるだけ早く来ることを願うばかりです。

競技部は、旭川市の陸上競技場や愛別神社、B&G海洋センター等で、気温が高い中でも頭から水をかぶりながら、陸上競技の記録更新を目指して練習をしています。軽スポーツ部は球技の技術の向上を目指して練習をしています。ソフトテニス部は、高体連に登録し、大会で優秀な成績を残せるように練習をしています。文化部は、音楽コンクールや各種イベントが中止になってしまいましたが、次の発表の機会に向けて、技術の向上に取り組んでいます。各部活動に所属する生徒一人一人が、各自の目標の達成を目指し、頑張っています。(部活動担当: 富士原裕三)



Kamusta na kayo? (How are you?)

It's now September and I can't believe I just turned 27. When I came to Aibetsu, I was just 22! I can still clearly remember my first birthday here. I barely knew anyone and didn't have friends so I thought I would have to celebrate alone. But the staff at the Board of Education were all so nice to take me to dinner to celebrate my birthday. I didn't expect I would enjoy my birthday away from my family and friends. I was really moved by their thoughtfulness. Since I made friends and gained a second family in Japan, my birthdays have never been lonely. I consider myself lucky for having found friends who are very supportive and generous.

It's also been nine months since the coronavirus has started causing widespread damage to people's lives and to economies around the world. In the Philippines, thousands of positive cases are reported every day. Many towns are still placed under lockdown to prevent further spread of the virus. Some schools are conducting classes online while others are distributing learning materials for students to study and work on. There are thousands of Filipinos who lost their jobs and are still unable to go back to work.

The coronavirus has completely changed our lives. But we can do nothing but wish and pray that an effective treatment and vaccine could finally be discovered. I can't wait to be able to travel again and not have to worry about getting sick. Ingat kayo palagi (stay safe always) and enjoy the wonderful colors of autumn!



クムスタ ナ カヨ(お元気ですか?)

9月に入り、27歳になりました。愛別に来たときは22歳でした！ここでの最初の誕生日をはっきりと覚えています。私はほとんど誰も知らず、友人もいなかったもので、1人で祝わなければいけないと思いました。しかし、教育委員会の方々が、私の誕生日を祝うために夕食へ連れて行ってとても親切でした。家族や友人と離れて誕生日を過ごすとは思っていませんでした。皆さんの優しさで感動しました。友人ができて日本での家族もできたので誕生日は1人ではありませんでした。私はとても協力的で寛大な友人を見つけてよかったです。

新型コロナウイルスが人々の生活と世界中の経済に大きな被害を引き起こしてから9か月です。フィリピンでは、毎日何千もの陽性例が報告されています。ウイルスのさらなる拡散を防ぐために、多くの町がまだ閉鎖されています。一部の学校はオンラインで授業を行っていますが、他の学校は学習に取り組むための資料を配布しています。また、職を失い、仕事に戻ることができないフィリピン人が何千人もいます。

新型コロナウイルスは私たちの生活を全く変えてしまいました。効果的な治療法とワクチンが見つかることを願い、祈るばかりです。私は、病気の心配をせずに再び旅行ができるようになるのが待ち遠しいです。

インガットカヨパラギ(安全に過ごすこと)と秋の素敵な色を楽しんでください！

戸籍の窓

■うぶごえ

行政区	あかちゃん なつき	誕生日	保護者
南町2区	大石 奈桜 ちゃん	7月21日	輝宣さん・円さん
東町2区	中嶋 千皓 くん	8月4日	涼平さん・帆乃佳さん

まちの人口

7月末現在・() 内前月比	
男	1,260 (-2)
女	1,429 (0)
計	2,689 (-2)
世帯数	1,347 (-1)

※「戸籍の窓」欄への掲載の申し込みは、各届出時に税町民課戸籍町民係へお申し出ください。

中学校最後の夏の思い出



7月20日に、愛別中学校にて3年生のレクリエーションで体育大会が実施されました。中止となってしまった体育大会の代わりに、生徒、保護者と先生が力を合わせて作り上げた「体育大会」は、中学校最後の夏の素敵な思い出になりました。



今月の表紙

8月3日に開かれたチャレンジ元気塾で、子どもたちがゴルフ体験をしました。チャレンジ元気塾については「生涯学習だより」9月号で紹介しています。

『広報あいべつ』は、愛別町ホームページでも公開している他、旭川ケーブルテレビポテトでも放送しており、写真等がカラーでご覧いただけます。

広報 あいべつ 2020(令和2)年9月1日

- 発行・編集
愛別町総務企画課政策企画室
広報統計係
〒078-1492
北海道上川郡愛別町字本町179番地
☎01658-6-5111(代表)
- 印刷
株式会社井田印刷工房

- ホームページ
<http://www.town.aibetsu.hokkaido.jp/>
- Eメール
aibetsu@town.aibetsu.hokkaido.jp

親切な花壇



編集後記

■「たまちゃん日記」に登場した親切な花壇は、ローマ字でも花の名前が書いてあり、とても親切でした。私は花には詳しくなく、アサガオやヒマワリくらいしかわかりません。夏の終わりになると、子どもの頃、咲き終わったヒマワリから種を取り出すのが楽しかったことを思い出します。(飛鳥)